

# 常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第152号 2024年8月15日

## サマーバーゲン in ネオマルシェ



心躍るショッピング。お名前を記入しお届けします。



墨の香が漂うお教室……書に取り組む方々の真剣な眼差しが素敵です。



「人生の先輩からたくさんのことを学ばせていただいています。」と高木千賀子先生。





# 民謡クラブ



ここのお囃子は  
ハアアリヤサーサッサですよー！



唄もうたえば体も動かします。



地方メンバーは太鼓は利用者の奥山さん。三味線は職員。(秀美会社中)

## Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”  
“人” etc があると思います。このコーナーでは  
そんな人の“Only One”をご紹介します！

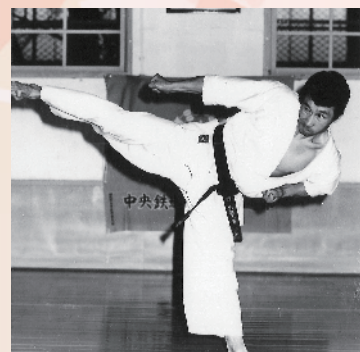
### 4番街 佐藤正男さまの Only One

4番街にお住まいの佐藤正男さまの Only One は次女の桃原様ご寄稿いただきました。

父佐藤正男は昭和 20 年に宮城県で生まれ、22 歳のときに日本国有鉄道に入社。当時労組運動が激しかった時代、父は現場管理者としての対応に注力しました。民営化になってからも、労使関係等の問題に臨む上では辛酸多く、人から厭われる場面や孤独を感じることも多々あったかと思ひます。そんな父を支えたのが国鉄時代から父の働きを認め、同憂の仲間として志を共にしてくださった諸先輩方との出会いです。この出会いこそが父の人生の財産であり幸福そのものです。父は何冊か書籍や論文を執筆していますが、その一冊のあとがきに父が尊敬していた先輩から、このようなご寄稿いただきました。

=私の知る著者の佐藤正男氏は、いさぎよくて正義感が強く、古武士を思わせる精悍な男である。志つとに高く、思いやりがあって義侠心に富み、とりわけ信義に厚い男である。若い時から空手と柔道の修行をつみ、事に臨んでは命をも惜しまぬ覚悟と実践力を内に秘めている。=

この言葉は父、佐藤正男にとってのなによりの Only One の言葉となっています。職業人としての父ばかり紹介しましたが、私の出産時、みんなが赤ん坊に駆け寄り、真っ先に私の頭を撫で、「お疲れ様、頑張ったね」と労ってくれたのはこの世に父だけです。



#### 編集後記

立秋も過ぎ夏の暑さもあとわずか……秋の気配を感じる季節がもうすぐやってまいります。楽しみですね。